

# ダットスキャン 検査予約説明書

氏名 \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_ 体重 \_\_\_\_\_ Kg  
担当医: \_\_\_\_\_

## 検査予約日

年 月 日 ( ) : \_\_\_\_\_ に注射を行います。

※検査当日はこの用紙を持って、秀和総合病院に注射予約時間の 15 分前までにお越し下さい。  
検査は注射後 3 時間～6 時間の間で行います(当院では 3 時間後に撮影)

### 《注意事項》

先生より指示があった場合、今飲んでいるお薬の服用を中止していただくことがございます。  
三環系抗うつ薬・塩酸ラベタロール(降圧薬)・レセルピン(高血圧・精神神経治療薬)  
検査前及び検査中の食事制限はございません。

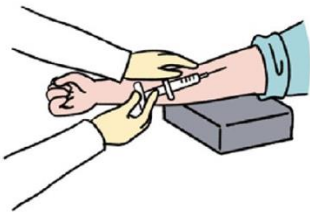
**予定日の変更、あるいは検査をキャンセルされる場合は  
検査2日前(土・日・祝日を含まず)の 15 時まで**に下記までご連絡下さい。

※直前の急なキャンセルでは注文した放射性医薬品が廃棄処分になってしまうため、薬品代金をご負担いただく場合がございます、予めご了承ください

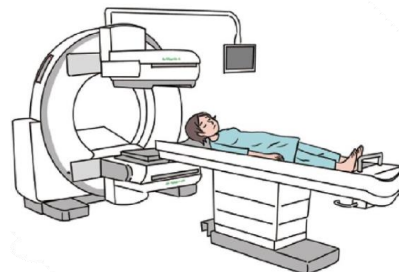
### 《検査説明》

この検査はドーパミン神経細胞やドーパミントランスポーターの減少をみる画像検査です。

1. 所定の時刻に、お薬を腕に静脈内注射します。
2. 注射後、3 時間以降～6 時間の間に撮影をします(約 30 分)  
検査はベッドの上で仰向けに寝ているだけです。



3 時間～6 時間後



検査に対してのご質問、またはご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください

秀和総合病院

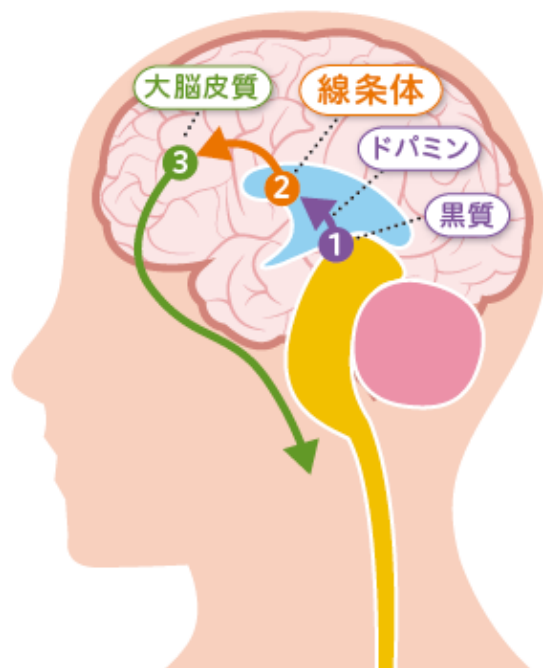
(代表) 048-737-2121 (内線) 1060

パーキンソン病の原因

脳内のドパミン神経細胞が減少

運動の調節を指令している「ドパミン」が不足し、体の動きに障害が現れる

- 1 黒質のドパミン神経でつくられた**ドパミン**が**線条体**に送られます。
- 2 **線条体**から**大脳皮質**に運動を調整する指令が出されます。
- 3 指令を受けた**大脳皮質**から、全身に運動の指令が伝えられます。



レビー小体型認知症になると

ドパミンが不足

うまく  
伝わらない

ドパミン神経  
細胞が減少

運動を調整する  
機能が低下

全身への運動の指令がうまく伝わらなくなり、体の動きに障害があらわれます。

レビー小体型  
認知症の原因

レビー小体の蓄積

脳内の  
ドパミン神経細胞が減少

運動の調節を指令している「ドパミン」が  
不足し、体の動きに障害が現れる

#### 本態性振戦 (ET)



#### 脳血管性パーキンソニズム (VP)



#### 進行性核上性麻痺 (PSP)



#### 薬剤性パーキンソニズム (DIP)



#### 多系統萎縮症 (MSA)



#### 特発性正常圧水頭症 (iNPH)

